



鎌倉らしさを次世代へ



自立した地方自治を目指し、鎌倉市民の負担を減らす



㊦ 深刻なゴミ問題とエコシステム導入

鎌倉市は今年度から自力でごみを燃やせない自治体になります。他所自治体へ委託する為に神奈川県平均の2倍近くのごみ関連費用負担が発生します。これを未来永劫続けられると思いますか？ 自分達が出すゴミは、自力で処理が当然です。新たな焼却施設の建設は機を逃していますが、諦めず環境に配慮した自然由来資源で発電するバイオマス発電焼却施設の設置をすれば市民への電気料金還元や、他自治体分を引き受けて鎌倉市の歳入を増やし、還元する事もできます。

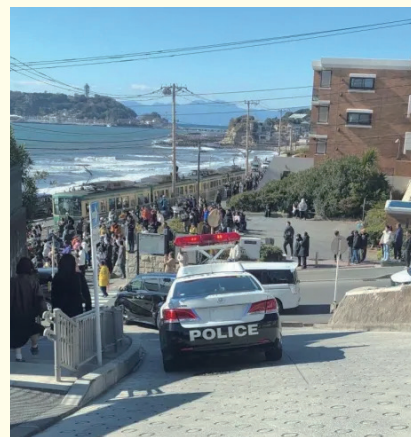


㊦ 地産地消と食料自給率 UP + 医療費削減

地方自治体は自立運営できることが重要です。食料自給率向上は災害への安全保障として必須にも関わらず、鎌倉市は2%で遅々として進んでいません。地産地消を進め、食品ロスと輸送コストを減らす。大切な一次産業への理解を深め、市民と共に護る事で、安全安心な食料環境をつくり、病気も減って健康な人生が送れる町にしていきます。

㊦ オーバーツーリズム問題対策

住民約17万人の鎌倉市への観光客数は令和5年度で約1,228万人でした。慢性的な交通渋滞、外国人の自宅敷地立ち入りなど、市民にとって看過できない事象も発生しています。観光客の受け入れはもっと住民の立場になって考える必要があります。観光税、通行税、飲食店の二重価格などを導入し、駅周辺のトイレ設置やバリアフリー、道路環境改善や鎌倉市の文化財保護費など住民と観光客へ共に還元ができる制度を作り、旅行者数抑制や住民負担軽減につなげていきましょう。



第壹号ビラ

- 少子化対策と子育て支援として、出産育児支援の拡充と、空家を利用した子育て世代の移住定住の実施をしていきます。
- 海山に囲まれた鎌倉市の防災・減災対策として、十分な食料備蓄、支所や消防署、警察署の機能拡充、また病院との連携を行っていきます。
- 大切な子ども達の給食をオーガニック、通年化する為に、市民が自ら一次産業に携わり、安心安全な食材による給食を実現していきます。

第参号ビラ

- 不登校児童への対策。自尊史観教育で自らや日本への尊厳を取り戻す
- 鎌倉市の中小企業、小規模店舗を苦しめるインボイス制度の廃止
- 鎌倉市庁舎移転問題と、深沢地区再開発について

正確な情報を得て、自ら判断し、行動を起こせる社会に！